

総理表敬



6月29日(月)、有村大臣、岡本経団連副会長、内堀福島県知事は、安倍内閣総理大臣を表敬訪問し、さんきゅうパパの取組を報告しました。

安倍総理は「配偶者が出産して、男性も産休をとると言うことが、だんだん常識化していくことが大切だ。経済界、自治体と協力して頑張っていけないといけない」と述べました。

【共同通信配信記事
山形新聞6月30日朝刊掲載】



地方紙を含め、約50紙で取り上げられました



有村大臣、岡本副会長、内堀知事と、実際に休暇を取った内閣府勤務の職員(さんきゅうパーズ)との写真撮影

パパが産休 家族にサンキョウ



さんきゅうパパ
プロジェクト

フリーユース。
ただいま準備中。

＜シンボルマークの主旨＞

パパが産後すぐに休暇を取ることで、家族が結びつきをより強くすることをイメージしています。

＜キャッチコピー＞

パパが産休を取ることで、産んでくれた妻に、生まれてきてくれた我が子に、ありがとうを言おう、という意味を込めています。

「**少子化社会対策大綱**」(平成27年3月20日閣議決定)(抜粋)

重点課題

(4) 男女の働き方改革を進める。

長時間労働などにより、男性の家事・育児への参画が少ないことが、少子化の原因の一つであり、従来の働き方に関する意識を含めた改革が必要不可欠である。

(男性の意識・行動改革)

長時間労働の是正に加え、人事評価制度の見直しなど経営者・管理職の意識改革を促す。また、**男性が、出産直後から育児を行えるよう、出産直後の休暇取得の促進**など、実効性の高い方策を推進する。

【施策に関する数値目標】 男性の配偶者の出産直後の休暇取得率 **80% (2020年)**